



～あふれ出る湧き水と瑠璃色の水辺の町～

# 針江・霜降



はりっしも

Harisshimo vol.112020 (令和2年). 3

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会

小きとさな  
湧き水と自然  
町をに  
川をに  
がっなく  
ある

## Message

針江・霜降地域は国の「日本遺産」・「重要文化的景観」の選定を受けています。

令和元年 針江・霜降の

## 水辺あかり

■私たちがかけがえのない川や湧水にもっと住民が親しむことができないうらさうか。そんな思から始まった「水辺灯り」。針江・霜降のお盆の夏祭りなどにあわせて流し灯籠と竹灯籠を大川に灯しました。

また今年度に入り、「水辺灯り」にいつでも親しんでいただけるよう、大川にソーラーライトを設置してみました。ささやかな灯りも大川に点々とつらなり、川面に映る光が揺れる風景は、ちょっと幻想的でもあります。霜降・行者堂の周辺にも設置していますので、ぜひご鑑賞ください。

水がゆるむと  
川の生きものが、愛らしい顔を  
のぞかせてくれます。

■綺麗な川を夕暮れ時に「ライトアップしたい」との思から、針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会で機器を準備いただき、先ずは7月末に霜降会議所付近の大川にソーラーライトの設置を協議会役員で実施しました。設置個数も多く、かつ設置もコンクリートに固定していく方法であったため、かなり手間がかかりましたが、設置したライトが夕暮れ時に一斉に明かりがつき、近所の人から「これ、メチャ エエやん」と言われた時は、口では言い表せないほど感動しました。

そのあと、お盆の時期に最近恒例となっている「灯籠による水辺灯り」を実施しました。当初は昨年と同様に20個の灯籠とを考えていましたが、「できるだけ霜降区内の川に明かりを灯もせるように」と10個追加し、30個の灯籠とする事にしました。

■灯籠の絵は区内及び帰ってこられる子どもさん(お孫さん)にもお願ひし、灯籠への貼り付けは、子ども会、その親御さんに実施していただきました。また3日間灯した最終日の設置点灯は、中学生及PTAの方々を実施してくれました。

■夕暮れ時に点灯した灯籠のともしびが、西の空の暮れゆく夕焼けの色と調和した景色は、観光のために装飾された景色と違い、心が洗われるようでした。今では毎日灯っている大川のライト、そしてお盆には恒例となった灯籠の明かりですが、いろんな方のご協力により支えていただけており、この場をお借りしてお礼を申し上げます。



霜降区長  
水辺景観まちづくり協議会副会長 青木 博



■針江大川でも針江区民夏祭り・盆踊りにあわせて「水辺灯り」を設置。夏祭りには、針江日吉神社から公民館一帯に約70個の竹灯籠と20個の流し灯籠を設置して夏の宵の水辺景観を演出しました。かつてのお盆の「おしょうらいさん(ご精霊さま)」の迎え火の現代版として、ご先祖様と生水への感謝の心を新しい時代に伝えていければと思います。

また、秋祭りにあわせて針江公民館前の「明光橋」周辺にソーラーライトを設置しました。冬場は日陰のソーラーバッテリーに若干不安がありますが、それでもがんばって輝いていてくれました。今後さらに臼の池橋方面あるいは日吉神社方面にも水辺灯りを伸ばしていきたいと考えています。水と灯りのあたたかな景観を皆さんに楽しみ親しんでいただければと思います。



●流し灯籠の絵は、針江区でも子ども会に描いていただき、子どもたちの思いの楽しい絵がロウソクの灯りに鮮やかに浮かび上がりました。



●今年は「令和元年」の文字を田中義孝さんにお願ひし、この広報「はりっしも」に掲載した宮田美津子さんの絵も流し灯籠に使用しました。ロウソクは永平寺など有名な寺社でも使われている今津の「大興」さんに和ろうそくを提供いただいています。